

第17回定期地本委員会を開催!

スローガン

- *「反核・反原発」の闘いを、地域の仲間と連帯して闘い連帯の輪を拡大しよう!
- *当面する「60歳以降の雇用を守る闘い」を組織一丸となって闘おう!
- *全ての闘いを通じて「組織拡大」を実現しよう!

2月19日、JR東海労新幹線関西地本は、第17回定期地本委員会を「市民交流センターひがしよどがわ」において委員・多くの傍聴者・来賓に参加して頂き開催しました。

委員会は、康乗副委員長長の司会で始まり、議長に乾委員（大阪修繕分会）を選出し議事が進められました。

地本執行委員会を代表して、小林委員長が挨拶を行いました。小林委員長は冒頭に、60歳以降の雇用を守るために、闘いを展開している仲間の皆さんに敬意を表し、職場の闘いと合わせて今後も本部・JR総連と連携して闘っていくことを明らかにしました。さらに、「政治・経済・労働運動における私たちを取り巻く情勢」と、「東日本大地震・福島第一原発事故から一年、反核・反原発の闘い」にふれ、社会変革のために一人ひとりが目的と課題を明確にして、目の前にある現実立ち向かって行こうと、委員会参加者に訴えました。その後、来賓として、本部の高原副委員長と地本OB会の中崎会長から挨拶を受けました。



質疑では、「えん罪JR浦和電車区事件の上告棄却」、「60歳以降の雇用を守る闘い」、「組織拡大の闘い」、「反核・反原発の闘い」、「職場における安全問題」などについて各委員から発言を受けました。各委員からの発言に対して、各々が答弁を行い、湊書記長が「国会要請行動はJR総連・組織内候補田城郁議員の力添えを得て実現できた」「春の闘いの最重要課題である60歳以降の雇用を守る闘いを組織一丸となって、しっかりと闘い抜こう」と総括答弁を行い、「スローガン（案）」、「暫定予算（案）」、「活動方針（案）」について、満場一致で一括採択されました。

最後に、小林委員長の団結ガンバローで、地本委員会は成功裡に終了しました。